

三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ
＜米ドルコース／豪ドルコース／アジアバスケット通貨コース＞【愛称：グローイング・スター】
第19期分配金のお知らせ

追加型投信/海外/債券

平素は「三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ【愛称：グローイング・スター】」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、この度当ファンドにつきましては、2013年4月15日に第19期の決算を迎え、米ドルコース、豪ドルコース、アジアバスケット通貨コースの各分配金を以下の通り引き上げましたことをご報告申し上げます。

	米ドルコース	豪ドルコース	アジアバスケット通貨コース
分配金 (1万口あたり、税引前)	120円 (前期:80円)	120円 (前期:110円)	120円 (前期:110円)
基準価額	14,328円	14,648円	13,696円

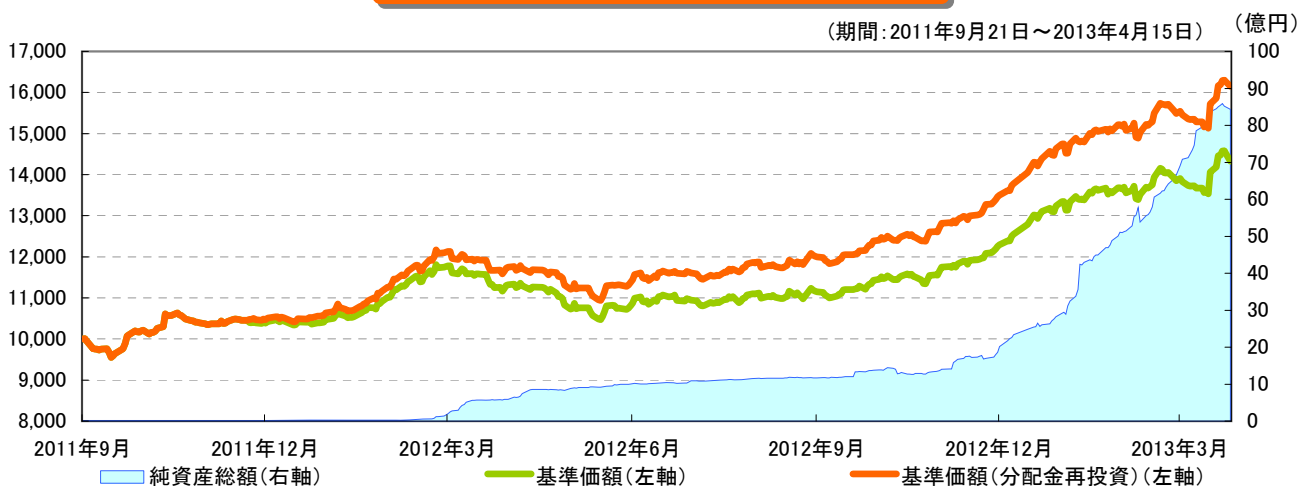
基準価額(分配金再投資)でみる設定来のトータルリターンは、米ドルコース61.5%、豪ドルコース71.9%、アジアバスケット通貨コース61.7%の上昇と、いずれのコースも良好なパフォーマンスとなりました。

当ファンドにおいては世界的な景気回復期待などを受けて投資対象である新興国ハイイールド債券価格が堅調に推移してきたことに加え、急速に円安が進行したことにより、基準価額は上昇傾向にあります。その様な状況を踏まえ、分配金を引き上げることいたしました。

4ページ以降のQ&Aにて分配金見直しの背景や今後の見通しにつき、まとめておりますので、ご参照のほどお願い申し上げます。

各コースの基準価額の推移

米ドルコース



- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)は設定日を10,000として指数化しています。
- ・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬(純資産総額に対し、年率1.7955%(税抜1.71%))控除後の値です。
- ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。

- ・上記各グラフは過去の実績・状況であり、将来の運用状況・成果等を示唆・保証するものではありません。
- また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

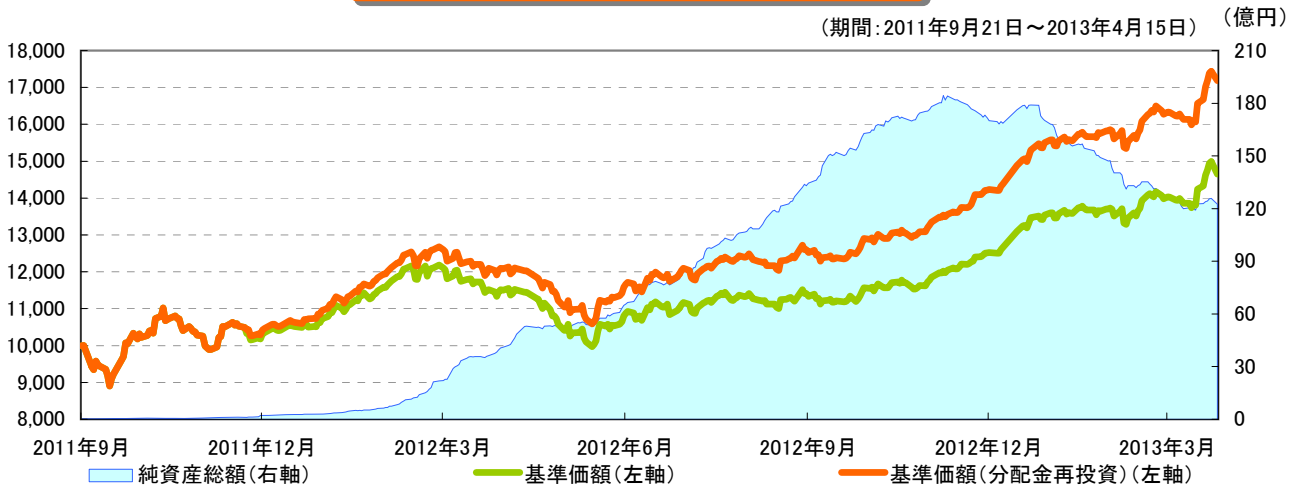
※後記の「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ
 <米ドルコース/豪ドルコース/アジアバスケット通貨コース>【愛称:グローイング・スター】
 第19期分配金のお知らせ

追加型投信/海外/債券

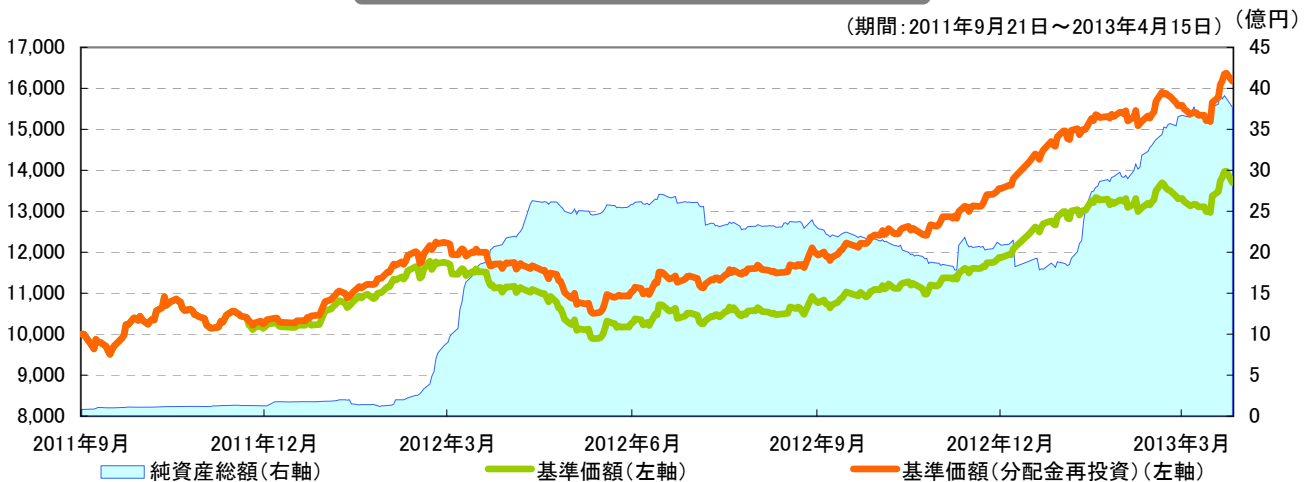
各コースの基準価額の推移(つづき)

豪ドルコース



- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)は設定日を10,000として指数化しています。
- ・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬(純資産総額に対し、年率1.7955%(税抜1.71%))控除後の値です。
- ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

アジアバスケット通貨コース



- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)は設定日を10,000として指数化しています。
- ・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬(純資産総額に対し、年率1.7955%(税抜1.71%))控除後の値です。
- ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

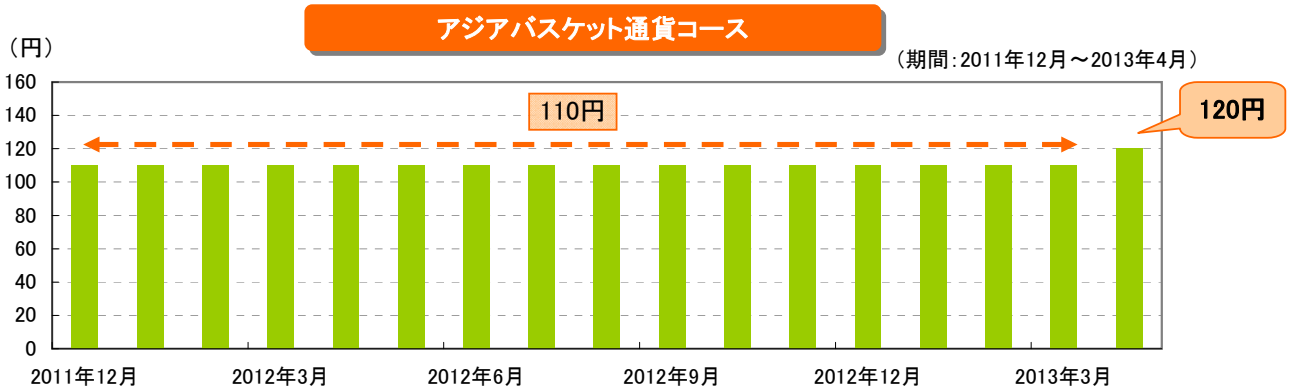
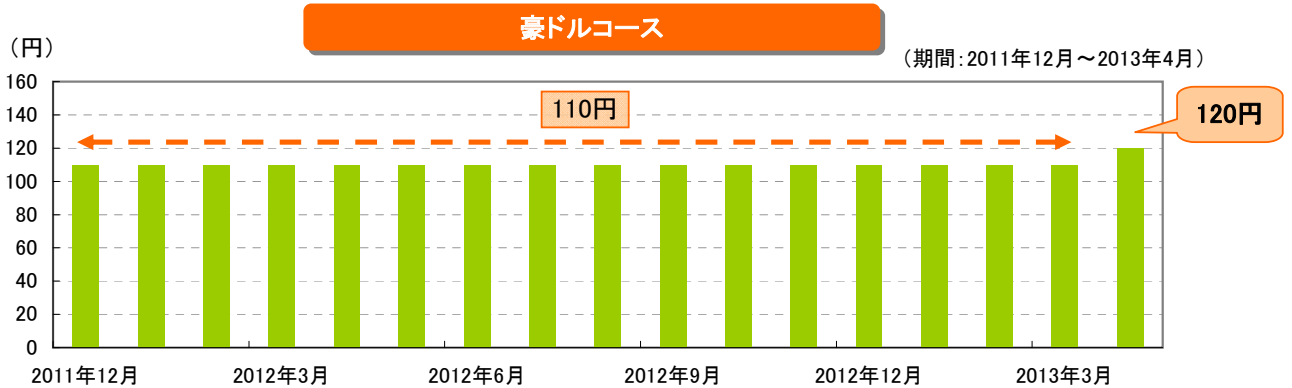
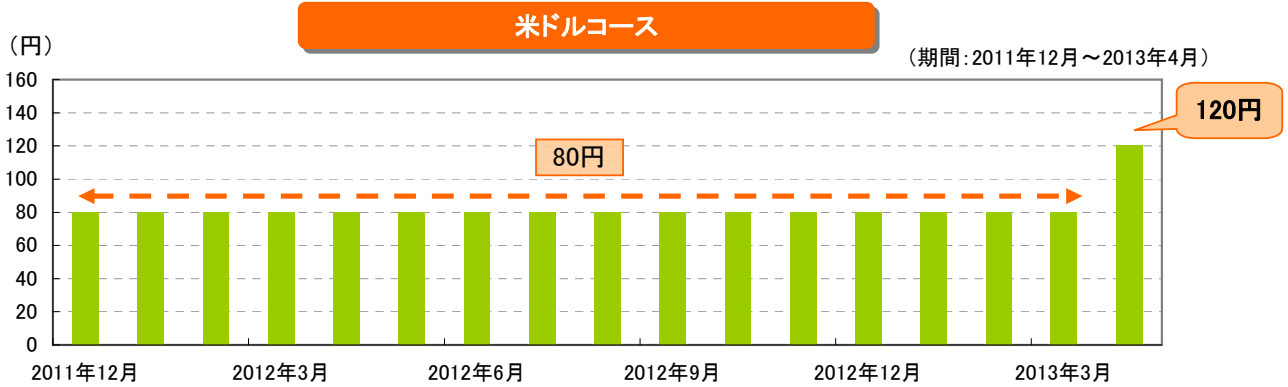
・上記各グラフは過去の実績・状況であり、将来の運用状況・成果等を示唆・保証するものではありません。
 また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

※後記の「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ
 <米ドルコース/豪ドルコース/アジアバスケット通貨コース>【愛称: グローイング・スター】
 第19期分配金のお知らせ

追加型投信/海外/債券

各コースの分配金実績(1万口当たり、税引前)



- ・初回分配月(2011年12月)より表示しております。
- ・運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

- ・上記各グラフは過去の実績・状況であり、将来の運用状況・成果等を示唆・保証するものではありません。
- また、税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

※後記の「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ
 <米ドルコース/豪ドルコース/アジアバスケット通貨コース>【愛称:グローイング・スター】

Q1. なぜ分配金が引き上げられたのですか？

A. 新興国高利回り社債市況の上昇、円安の進行により、基準価額が上昇しているためです。

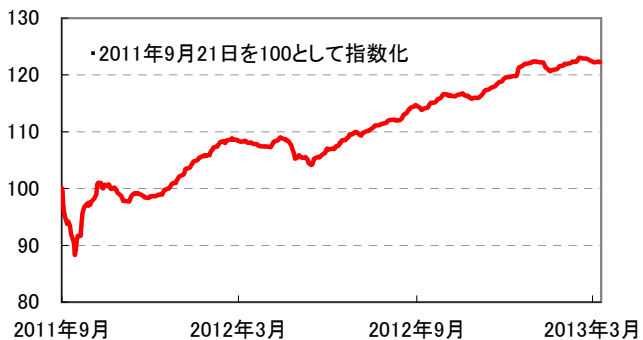
ファンド設定日(2011年9月21日)以降の市場環境を振り返ると、新興国高利回り社債指数(米ドルベース)は堅調な推移となりました。2011年10月初旬まではイタリア、スペインに欧州債務問題が波及するとの懸念から市場のリスク回避姿勢が高まり、一時的に下落しましたが、その後はほぼ一貫して堅調に推移する結果となりました。その背景としては、新興国が相対的に良好なファンダメンタルズ(経済の基礎的条件)を有していることに加え、ギリシャのユーロ圏離脱リスクを含めた欧州債務問題の最悪シナリオの回避、住宅市場を中心とした米国景気の回復、中国経済の底割れリスクの回避などを受け、市場心理が改善したことなどが挙げられます。

また、為替レートの動きをみると、特に日銀に対して意欲的に金融緩和の強化を働きかける安倍新政権に対する期待が高まった結果、2012年11月以降、急速に円安が進行する結果となりました。

このような市場環境を背景に、各コースの基準価額は上昇傾向にあることから、基準価額水準、市況動向等を勘案し、分配金を引き上げることといたしました。

新興国高利回り社債のパフォーマンス
(米ドルベース)

(期間:2011年9月21日~2013年3月29日)



・上記グラフは指数を用いており、実際のファンドの運用実績を示すものではありません。指数については下記の【当資料で使用している指数について】をご覧ください。

為替レート(円/米ドル)の推移

(円) (期間:2011年9月21日~2013年3月29日)



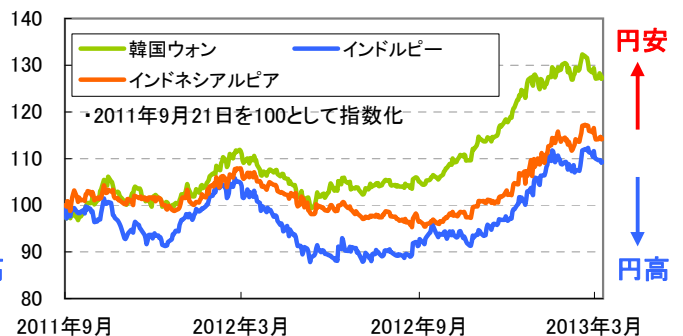
為替レート(円/豪ドル)の推移

(円) (期間:2011年9月21日~2013年3月29日)



為替レート(円/韓国ウォン、円/インドルピー、円/インドネシアルピア)の推移

(期間:2011年9月21日~2013年3月29日)



(出所)ブルームバーグ社のデータより三菱UFJ投信作成

- ・上記各グラフは過去の実績・状況であり、将来の運用状況・成果等を示唆・保証するものではありません。
- ・また、税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- ・本見通ししない分析は作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を示唆・保証するものではありません。
- ・計測期間が異なる場合は結果も異なる点にご注意ください。

【当資料で使用している指数について】

・新興国高利回り社債【JPモルガンCEMBIブロード・ノン・インベストメント・グレード】

JPモルガンCEMBIブロード・ノン・インベストメント・グレードとは、J. P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、米ドル建ての新興国社債(非投資適格)の代表的なインデックスです。

※後記の「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ
 <米ドルコース/豪ドルコース/アジアバスケット通貨コース>【愛称:グローイング・スター】

Q2. 今後の市況見通しについて教えてください。

A. 先進国が抱える構造問題には引き続き注意が必要なものの、ファンダメンタルズの良好な新興国の高利回り社債は堅調に推移すると見ています。
 為替については、アベノミクス政策が推進されることにより、円安基調で推移すると見ています。

1. 新興国高利回り社債の市況見通し

(1) 米国経済回復による新興国経済へのメリット

2012年後半に発表されたFRB(米連邦準備制度理事会)による量的緩和第3弾(QE3)や、ECB(欧州中央銀行)による欧州周辺国を含む国債の買取プログラムの発表など、欧米の金融当局による一連の積極的な金融緩和策は世界経済の底割れリスクの回避と市場心理の改善に大きく寄与しました。これらは足下において米国を中心とした景気見通しの改善に繋がっており、この点は引き続き新興国高利回り社債市場も含めたリスク資産の支援材料と考えます。また、米国の輸入額の50%以上は新興国で占められており、米国経済の回復は米国の輸入増を通して新興国経済にプラスに働くことが期待されます。

(2) 財政面の差異から来る新興国のアセットの優位性

世界経済の底割れリスクが回避されたとはいえ、先進国が抱える構造問題には引き続き注意が必要です。米国における財政の崖問題にかかる実質増税や強制歳出削減の開始、欧州における実体経済の回復の遅れといった「成長力不足」の問題、5月中旬まで暫定的に上限を引き上げている米国の債務上限問題や、キプロス・ショックなどで再燃した欧州債務問題など、「過剰債務」にかかる問題が台頭するリスクは残存しています。このような環境においては、豊富な人口と中間層の拡大を背景とした力強い消費の持続が見込まれ、先進国対比で低い債務水準を維持している新興国の資産を投資に活用することが引き続き有効と考えられます。

(3) リスク・オン局面の強みとインカム水準の高さ

新興国高利回り社債はリスク・オン(リスク資産の上昇)に強い傾向があると同時に、相対的に高いインカムを中長期で積み上げることが可能な資産です。このため、先進国の構造問題が市場全体のリスク回避姿勢に繋がる場合には他の資産と同様に短期的に影響を受けるリスクは否めないものの、中長期的にはインカムを積み上げることで収益の土台を形成する効果が期待されます。

2. 為替相場の見通し

欧米の金融当局による一連の対応により、世界経済の底割れリスクが回避されておりますが、先進国が抱える構造問題は残存しており、ひとたびリスク要因に市場参加者の焦点が集まれば、一時的に円高に振れる場面がありえます。しかしながら、安倍政権が長引くデフレと円高からの脱却を目指すいわゆるアベノミクスを積極的に推進することを考えると、当面、現在の円安局面が持続する可能性が高いと予想しています。

なお、米ドルに目を転じると、米国では景気の緩やかな拡大基調が続くと判断しています。増税や政府の歳出削減による悪影響は限定的で、その後は先延ばしされてきた設備投資などが米国経済を牽引するとみられ、米ドルは対円で上昇すると考えています。

・本見通ししないし分析は作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を示唆・保証するものではありません。

※後記の「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ
<米ドルコース/豪ドルコース/アジアバスケット通貨コース>【愛称:グローイング・スター】

Q3. 今後の運用方針について教えてください。

A. 欧米の金融当局の金融緩和政策等により、米国を中心に景気見通しが改善に向かう中、信用力が高く、ファンダメンタルズの良い国の高利回り社債に投資することにより、中長期的な収益の獲得を目指します。

新興国高利回り社債は、先進国に比べ個人消費面などでの成長力が高く、債務水準が相対的に低いといったファンダメンタルズの良好な新興国に属する企業が発行する債券が多く、国も分散されていることが魅力です。また、新興国において社債を発行している企業にはインフラやエネルギー関連など新興諸国の経済成長に密接に結びついているケースも多く見られることも好材料です。

ポートフォリオの運用にあたっては、この様に企業が経済成長の一端を担うと同時に経済成長の恩恵を受けるといった「国」と「企業」の相互関係を引き続き重視し、ロシア、ブラジル、中国、メキシコなど、豊富な人口と中間層の拡大を背景とした力強い消費の持続が見込まれ、先進国対比で低い債務水準を維持している国に属する企業が発行する債券への投資を多めとする一方、アルゼンチンやウクライナなど信用力の低い国の社債投資は控えめにする方針です。セクター別ではエネルギー価格の上昇による恩恵を受ける石油・ガス関連銘柄に積極姿勢とする一方で、資本市場での資金調達環境の影響を受けやすい中規模の金融機関などについては消極姿勢とします。

Q4. 今回の分配金の水準はいつまで続くのですか？

A. 将来の分配金額については、あらかじめ一定の額の分配をお約束できるものではありません。

分配金額は、ファンドの分配方針に基づき委託会社が決定しますが、将来の分配金額につきましては、あらかじめ一定の額の分配をお約束できるものではありません。今後の運用状況や市況動向等によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

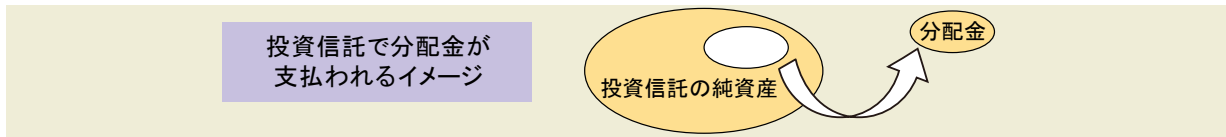
今後とも引き続き、『三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ【愛称:グローイング・スター】』をご愛顧いただきますよう宜しくお願い申し上げます。

・本見通ししないし分析は作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を示唆・保証するものではありません。

※後記の「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

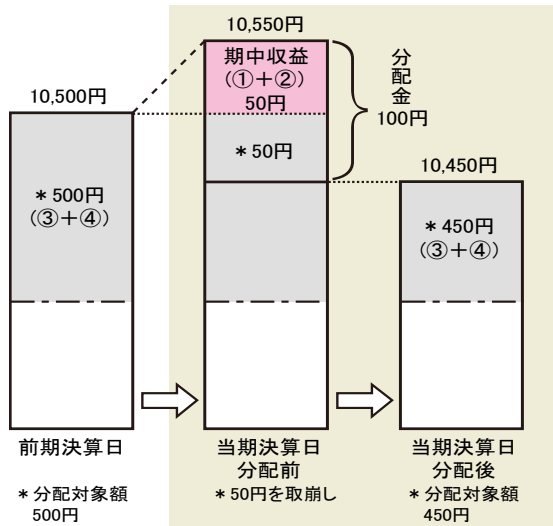


- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

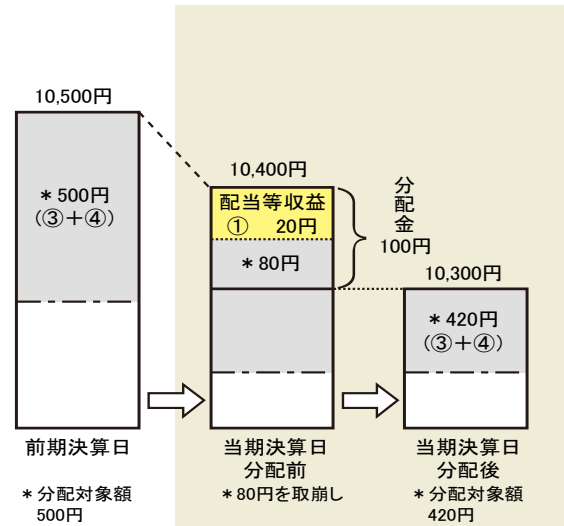
分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。
分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

(計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合)

(前期決算日から基準価額が上昇した場合)



(前期決算日から基準価額が下落した場合)



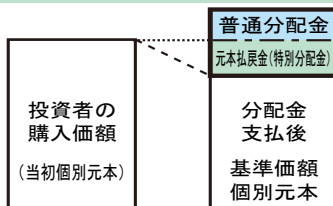
※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

分配準備積立金: 当期の①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益のうち、当期分配金として支払わなかった残りの金額をいいます。信託財産に留保され、次期以降の分配金の支払いに充当できる分配対象額となります。

収益調整金: 追加型投資信託で追加設定が行われることによって、既存の受益者への収益分配可能額が薄まらないようにするために設けられた勘定です。

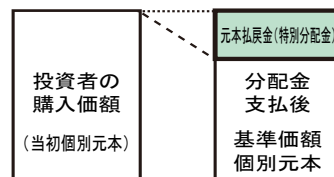
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

(分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合)



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

(分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合)

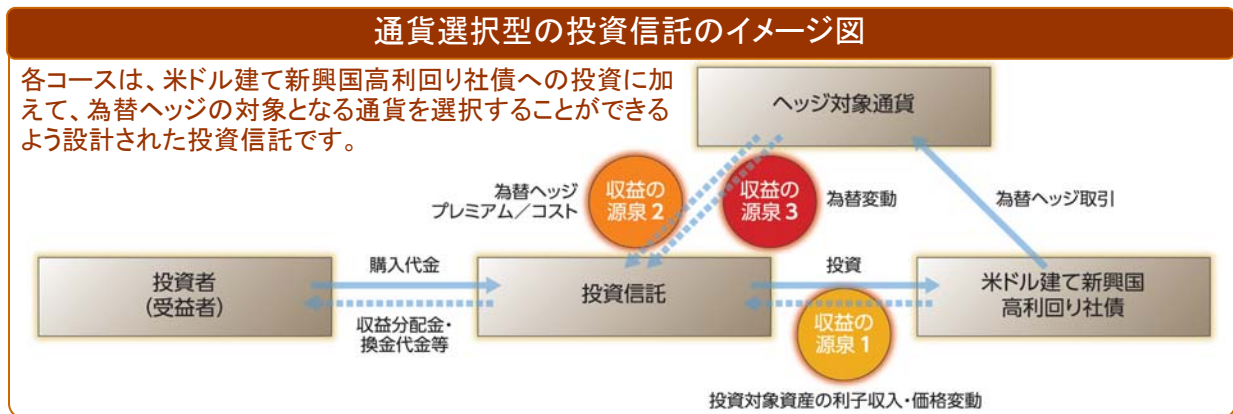


普通分配金: 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金(特別分配金): 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

(注)普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)をご参照ください。

■通貨選択型ファンドの収益のイメージ

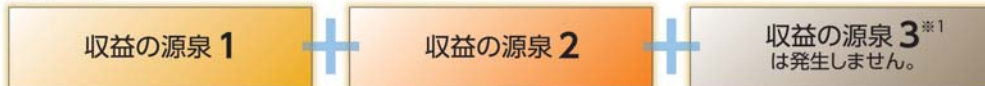


● 各コースの収益の源泉としては、以下の3つの要素があげられます。

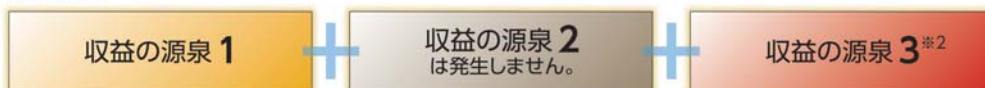


● 各コースにおける収益の源泉と基準価額の変動要因は以下の通りです。

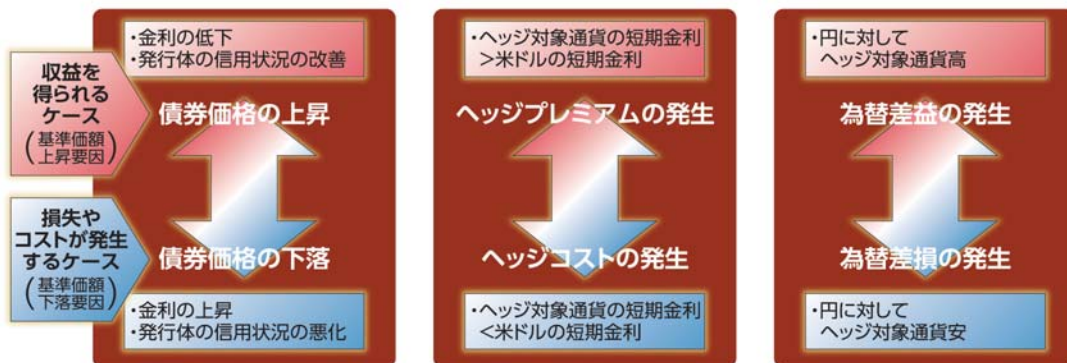
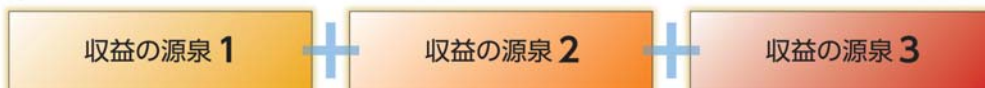
● 円コース



● 米ドルコース



● 豪ドルコース、ブラジルリアルコース、資源国バスケット通貨コース、アジアバスケット通貨コース



※1 円コースでは、為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。

※2 米ドルコースでは、原則として為替ヘッジ取引を行わないため、米ドルの為替変動の影響を受けます。

三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ【愛称:グローイング・スター】

ファンドの目的・特色

「三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ」は、以下の6つの通貨コースとマネーパールファンドの7本のファンドで構成される投資信託です。

＜円コース＞(毎月分配型)	／	＜米ドルコース＞(毎月分配型)
＜豪ドルコース＞(毎月分配型)	／	＜ブラジルリアルコース＞(毎月分配型)
＜資源国バスケット通貨コース＞(毎月分配型)	／	＜アジアバスケット通貨コース＞(毎月分配型)
＜マネーパールファンド＞		

「6つの通貨コース」について

■ファンドの目的

米ドル建ての新興国の高利回り社債を実質的な主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。

■ファンドの特色

- ・当ファンドシリーズは、債券への投資に加えて、為替変動リスクの異なる6つの通貨コースを選択することができます。
- ・*資源国バスケット通貨コース(豪ドル、ブラジルリアル、南アフリカランド)およびアジアバスケット通貨コース(韓国ウォン、インドルピー、インドネシアルピア)においては、それぞれ3通貨への実質的な配分は3分の1程度ずつになることを基本とします。ただし、投資環境、資金動向、為替の変動等により、実質的な通貨配分が3分の1程度ずつからカイ離する場合があります。
- ・各コースは、主として円建外国投資信託への投資を通じて、米ドル建ての新興国の高利回り社債等を実質的な投資を行います。また、証券投資信託であるマネー・マーケット・マザーファンドへの投資も行います。(ファンド・オブ・ファンズ方式)
- ・投資する米ドル建ての新興国の高利回り社債は、原則として取得時においてCCC格相当以上の格付けを取得しているものに限ります。
- ・*ファンドが投資対象とする新興国の高利回り社債とは、経済が発展途上にあり今後の急速な経済成長が期待できる国々の企業が発行し、格付会社(スタンダード・アンド・プアーズ(S&P)、ムーディーズ・インベスターズ・サービス(Moody's)など)によりBB格相当以下の低い格付けを付与された債券をいいます。
- ・一般的に高利回り社債は、投資適格債券(BBB格相当以上)と比較して、債券の元本や利子の支払いが滞ることや、支払われなくなるリスクが高いため、通常、その見返りとして投資適格債券よりも高い利回りを投資家に提供しています。
- ・つまり、高利回り社債は、主として低格付けの発行体が発行する債券で、信用力が低い反面、高い利回りが期待できる債券です。
- ・各コースが投資を行う外国投資信託においては、主に米ドル建ての新興国の高利回り社債に投資を行う一方で、米ドル売り、各コースのヘッジ対象通貨買いの為替ヘッジ(米ドルコースを除く)を行います。これにより、「為替ヘッジプレミアム/コスト」、「為替差益/差損」が生じます。
- ・各コースのヘッジ対象通貨の短期金利が米ドルの短期金利より高い場合、当該コースでは「為替ヘッジプレミアム」の獲得が期待できません。一方、各コースのヘッジ対象通貨の短期金利が米ドルの短期金利より低い場合、当該コースでは「為替ヘッジコスト」が生じます。
- ・*為替ヘッジ取引にあたっては、一部新興国通貨の場合、「NDF(ノン・デリバラブル・フォワード)取引」を利用する場合があります。
- ・各コースにおいて、投資対象とする円建外国投資信託への投資は高位を維持することを基本とします。
- ・三菱UFJ投信は、各コースにおいて、投資信託証券への運用の指図に関する権限をビムコジャパンリミテッドに委託します。
- ・毎月13日(休業日の場合は翌営業日)の決算時に収益分配を行います。ただし、分配対象収益が少額の場合は、分配を行わないことがあります。また、分配金額は運用実績に応じて変動します。将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
- ※販売会社によっては、取り扱わないコースがある場合があります。詳しくは、販売会社にご確認ください。

＜主な投資制限＞

- ・投資信託証券への投資割合に制限を設けません。
- ・外貨建資産への直接投資は行いません。

「マネーパールファンド」について

■ファンドの目的

わが国の公社債等を実質的な主要投資対象とし、利子等収益の確保をめざします。

■ファンドの特色

- ・運用は主にマネー・マーケット・マザーファンドへの投資を通じて、わが国の公社債等へ実質的に投資するファミリーファンド方式により行います。
- ・実質的にわが国の短期公社債等を中心に投資し、利子等収益の確保を図ります。
- ・毎年6・12月の各13日(休業日の場合は翌営業日)の決算時に収益分配を行います。ただし、分配対象収益が少額の場合は、分配を行わないことがあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

＜主な投資制限＞

- ・デリバティブの使用はヘッジ目的に限定しません。

■各ファンド間でスイッチングが可能です。

- ・マネーパールファンドの購入は、マネーパールファンド以外の各コースからのスイッチングの場合に限定します。
- ・スイッチングの際の購入時手数料は、販売会社が定めるものとします。また、換金するファンドに対して税金がかかります。
- ・販売会社によっては、スイッチングの取扱いを行わない場合があります。詳しくは、販売会社にご確認ください。

《ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。》

委託会社(ファンドの運用の指図等) 三菱UFJ投信株式会社
 受託会社(ファンドの財産の保管・管理等) 三菱UFJ信託銀行株式会社
 販売会社(購入・換金の取扱い等) 後記の各照会先でご確認いただけます。

設定・運用 …三菱UFJ投信株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
 加入協会 一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会

三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ【愛称:グローイング・スター】
投資リスク
■基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。

したがって、投資者のみなさまの投資元金が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

各ファンド(マネープールファンドを除く)

市場リスク
(価格変動リスク)

一般に、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、各ファンドはその影響を受け組入公社債の価格の下落は基準価額の下落要因となります。

(為替変動リスク)
「円コース」

組入外貨建資産については、為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。為替ヘッジを行う場合で円金利が米ドル金利より低いときには、これらの金利差相当分がヘッジコストとなります。

「米ドルコース」

組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を大きく受けます。

「豪ドルコース/ブラジルリアルコース」

各ファンドの組入外貨建資産は米ドル建て資産ですが、米ドル売り、各ファンドの対象通貨買いの為替ヘッジを行うため、各ファンドの対象通貨の対円での為替変動の影響を大きく受けます。

為替ヘッジを行う場合で当該通貨の金利が米ドル金利より低いときには、これらの金利差相当分がヘッジコストとなります。

為替取引に関する規制がある場合など、通貨によっては、取引量が少なく需給動向等の影響を受けやすいため、市場で取引もしくは公表されている金利と大きく乖離した金利水準をもとに取引されることがあります。このため、当該通貨の金利が米ドルより高いときであっても、ヘッジコストが生じる場合があります。

「資源国バスケット通貨コース」

組入外貨建資産は米ドル建て資産ですが、米ドル売り、資源国バスケット通貨(豪ドル、ブラジルリアル、南アフリカランドを各々3分の1程度ずつ)買いの為替ヘッジを行うため、当該バスケット通貨の対円での為替変動の影響を大きく受けます。

為替ヘッジを行う場合で当該通貨の金利が米ドル金利より低いときには、これらの金利差相当分がヘッジコストとなります。

為替取引に関する規制がある場合など、通貨によっては、取引量が少なく需給動向等の影響を受けやすいため、市場で取引もしくは公表されている金利と大きく乖離した金利水準をもとに取引されることがあります。このため、当該通貨の金利が米ドルより高いときであっても、ヘッジコストが生じる場合があります。

「アジアバスケット通貨コース」

組入外貨建資産は米ドル建て資産ですが、米ドル売り、アジアバスケット通貨(韓国ウォン、インドルピー、インドネシアルピアを各々3分の1程度ずつ)買いの為替ヘッジを行うため、当該バスケット通貨の対円での為替変動の影響を大きく受けます。

為替ヘッジを行う場合で当該通貨の金利が米ドル金利より低いときには、これらの金利差相当分がヘッジコストとなります。

為替取引に関する規制がある場合など、通貨によっては、取引量が少なく需給動向等の影響を受けやすいため、市場で取引もしくは公表されている金利と大きく乖離した金利水準をもとに取引されることがあります。このため、当該通貨の金利が米ドルより高いときであっても、ヘッジコストが生じる場合があります。

信用リスク

組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。

流動性リスク

有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合または取引が不可能となる場合、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となる可能性があります。

カントリーリスク

新興国への投資は、先進国への投資を行う場合に比べ、投資対象国におけるクーデターや重大な政治体制の変更、資産凍結を含む重大な規制の導入、政府のデフォルト等の発生による影響を受けることにより、市場・信用・流動性の各リスクが大きくなる可能性があります。

各ファンドは、格付けの低い高利回り社債を主要投資対象としており、格付けの高い公社債への投資を行う場合に比べ、市場・信用・流動性の各リスクが大きくなる可能性があります。

三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ【愛称:グローイング・スター】
投資リスク
マネープールファンド
市場リスク

(価格変動リスク)

一般に、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、ファンドはその影響を受け組入公社債の価格の下落は基準価額の下落要因となります。

信用リスク

組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。

流動性リスク

有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合または取引が不可能となる場合、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となる可能性があります。

■その他の留意点

各ファンド(マネープールファンドを除く)

・ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。

マネープールファンド

・ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。

・ファンドは、ファミリーファンド方式により運用を行います。そのため、ファンドが投資対象とするマザーファンドを共有する他のベビーファンドの追加設定・解約によってマザーファンドに売買が生じた場合などには、ファンドの基準価額に影響する場合があります。

■リスクの管理体制

ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲内で運用を行うとともに運用部門から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っています。

また、運用委託先で投資リスクに対する管理体制を構築していますが、委託会社においても運用委託先の投資リスクに対する管理体制や管理状況等をモニタリングしています。

三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<円コース>(毎月分配型)
Morningstar Award “Fund of the Year 2012”
優秀ファンド賞受賞 【高利回り債券型 部門】


Morningstar Award “Fund of the Year 2012”は過去の情報に基づくものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。また、モーニングスターが信頼できると判断したデータにより評価しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。著作権等の知的所有権その他一切の権利はモーニングスター株式会社並びにMorningstar, Inc. に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。

当賞は国内追加型株式投資信託を選考対象として独自の定量分析、定性分析に基づき、2012年において各部門別に総合的に優秀であるとモーニングスターが判断したものです。高利回り債券型部門は、2012年12月末において運用期間1年以上の当該部門に属するファンド524本の中から選考されました。

三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ【愛称:グローイング・スター】
手続・手数料等
■お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位 販売会社にご確認ください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額 ※マネープールファンドの購入は、マネープールファンド以外の各ファンドからのスイッチングによる場合に限りです。 ※ファンドの基準価額は1万口当たりで表示されます。基準価額は委託会社の照会先でご確認ください。
購入代金	販売会社の定める期日までに販売会社指定の方法でお支払いください。
換金単位	販売会社が定める単位 販売会社にご確認ください。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目から販売会社においてお支払いします。
申込締切時間	原則として、午後3時までに販売会社が受け付けた購入・換金のお申込みを当日のお申込み分とします。
申込不可日	各ファンド(マネープールファンドを除く) ニューヨーク証券取引所の休業日、ニューヨークの銀行の休業日は、購入・換金のお申込みができません。2013年の該当日は1月21日、2月18日、3月29日、5月27日、7月4日、9月2日、11月11日、11月28日、12月25日です。なお、休業日は変更される場合があります。
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みには制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止および取消し	各ファンド(マネープールファンドを除く) 金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情(投資対象国における非常事態(金融危機、デフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争等)による市場の閉鎖もしくは流動性の極端な減少等)があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止することおよびすでに受け付けた購入・換金のお申込みの受付を取り消すことがあります。 マネープールファンド 金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止することおよびすでに受け付けた購入・換金のお申込みの受付を取り消すことがあります。
信託期間	2021年6月11日まで(2011年9月21日設定)
繰上償還	各ファンドについて、受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合および各ファンドの受益権の口数を合計した口数が50億口を下回ることとなった場合等には、信託期間を繰り上げて償還となる場合があります。 各ファンド(マネープールファンドを除く) 投資対象とする外国投資信託が償還する場合には繰上償還となります。 マネープールファンド マネープールファンドを除く各ファンドがすべて償還する場合には繰上償還となります。
決算日	各ファンド(マネープールファンドを除く) 毎月13日(休業日の場合は翌営業日) マネープールファンド 毎年6・12月の各13日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	各ファンド(マネープールファンドを除く) 毎月の決算時に分配を行います。 ※販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。 マネープールファンド 年2回の決算時に分配を行います。 ※販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。
課税関係	課税上、株式投資信託として取り扱われます。

三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ【愛称:グローイング・スター】
手続・手数料等
■ファンドの費用・税金
・ファンドの費用

【お客さまには以下の費用をご負担いただきます。】

各ファンド(マネープールファンドを除く)
お客さまが直接的に負担する費用
購入時

購入時手数料	購入価額 × 3.15% (税抜 3%) (上限) 販売会社にご確認ください。
--------	---

換金時

信託財産留保額	ありません。
---------	--------

お客さまが信託財産で間接的に負担する費用
保有期間中

運用管理費用 (信託報酬)	純資産総額 × 年1.7955% (税抜 年1.71%) ファンドが投資対象とする投資信託証券では運用管理費用(信託報酬)はかかりませんので、お客さまが負担する実質的な運用管理費用(信託報酬)は上記と同じです。
その他の費用・ 手数料	売買委託手数料等、監査費用等を信託財産からご負担いただきます。 これらの費用は運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

※運用管理費用(信託報酬)、監査費用は毎日計上され、毎決算時または償還時に信託財産から支払われます。その他の費用・手数料(監査費用を除きます。)は、その都度信託財産から支払われます。

※購入時手数料、運用管理費用(信託報酬)およびその他の費用・手数料(国内において発生するものに限ります。)には消費税等相当額が含まれます。

※お客さまにご負担いただく手数料等の合計額は、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

・購入時手数料に関する留意事項

お客さまにご負担いただく購入時手数料の具体的な金額例は以下の通りです。下記はあくまでも例示であり、手数料率は販売会社ごとに異なります。また、販売会社によっては金額指定、口数指定どちらかのみのお取扱いになる場合があります。詳しくは、販売会社にご確認ください。

【金額を指定して購入する場合】

購入金額に購入時手数料を加えた額が指定金額となるよう購入口数を計算します。例えば、100万円の金額指定でご購入いただく場合、お支払いいただく100万円の中から購入時手数料(税込)をご負担いただきますので、100万円全額が当該ファンドの購入金額となるものではありません。

【口数を指定して購入する場合】

～手数料率3.15%(税込)の例～

例えば、基準価額10,000円(1万口当たり)の時に100万口ご購入いただく場合、購入時手数料 = (10,000円 ÷ 1万口) × 100万口 × 3.15% = 31,500円となり、合計1,031,500円をお支払いいただくこととなります。

三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ【愛称:グローイング・スター】

手続・手数料等

■ファンドの費用・税金

・ファンドの費用

【お客さまには以下の費用をご負担いただきます。】

マネープールファンド

お客さまが直接的に負担する費用

購入時

購入時手数料	ありません。
--------	--------

換金時

信託財産留保額	ありません。
---------	--------

お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

保有期間中

運用管理費用 (信託報酬)	純資産総額 × 年0.5775%～0.0105% (税抜 年0.55%～0.01%) 詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。
------------------	---

その他の費用・ 手数料	売買委託手数料等、監査費用等を信託財産からご負担いただきます。 これらの費用は運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。
----------------	--

※運用管理費用(信託報酬)、監査費用は毎日計上され、毎決算時または償還時に信託財産から支払われます。その他の費用・手数料(監査費用を除きます。)は、その都度信託財産から支払われます。

※運用管理費用(信託報酬)およびその他の費用・手数料(国内において発生するものに限りです。)には消費税等相当額が含まれます。

※お客さまにご負担いただく手数料等の合計額は、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

・税金

個人受益者については、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の価額から取得費を控除した利益に対して課税されます。なお、法人の課税は異なります。また、税法が改正された場合等には、変更となる場合があります。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

当資料のご利用にあたっての注意事項等

■投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、貯金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。／販売会社が登録金融機関の場合、投資者保護基金に加入していません。／投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。／投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)等の内容を必ずご確認ください。

■当資料は、当ファンドの運用状況をお知らせするために三菱UFJ投信が作成した資料です。／当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。／当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。／当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

■市況動向および資金動向等により、ファンドの基本方針通りの運用が行えない場合があります。

《ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。》

お客様専用
フリーダイヤル  **0120-151034**
受付時間／9:00～17:00 (土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

<オフィシャルサイト> <http://www.am.mufg.jp/>
<モバイルサイト> <http://k.m-muam.jp/a/1/3>
基準価額・分配金をメール配信(*メール配信対象外ファンドもあります。)



